

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たいようの子		
○保護者評価実施期間	R8年3月16日		～ R8年4月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	R8年3月16日		～ R8年4月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年4月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・療育プログラムの充実	・個々の特性や課題を踏まえ、卒業後の社会生活に必要なスキルの向上を意識した活動プログラムを用意している	・児童の特性や感情等の共有やミーティングを行い、全員が楽しく取り組めるよう工夫していく
2	・様々な障害特性や年齢の方の利用があり、幅広く関りが持てることでコミュニケーション能力や社会性の向上が見込めること	・共感力、社会性、倫理観、道徳、などに重点を置き様々な関りが持てるよう意識した日々の活動とデイ生活が送れるよう工夫して取り組んでいる	・どのような関わりが持っているかや課題など、スタッフ間で共有やミーティングを行い継続して関わりの中で成長できるよう工夫していく
3	・アットホームな雰囲気や保護者の要望への臨機応変な対応	・相談しやすい環境作り	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流や他児童との交流の機会の企画や提供不足 保護者会等の開催の不足	本人支援に比べ優先度が低くなってしまうこと 防犯上の観点からリスクヘッジが十分にできないこと 交流や保護者会等を望まない方もいるため慎重に考えていること	従来通り施設近隣への奉仕活動で地域交流を図っていく 他児童との交流の機会について情報収集をする
2	HPやSNSを活用した保護者への情報発信不足	それぞれの機能と防犯と保護者意見等の折り合いがつけられないこと	従来通りHPでは安全に情報発信できるものについての発信をしていく
3			